

会議結果のお知らせ

令和6年度第2回宮古市港湾振興ビジョン策定委員会を次のとおり開催しました。

令和6年11月20日

宮古市港湾振興ビジョン策定委員会

- 1 開催日時
令和6年10月21日（月） 午後2時00分～午後2時50分
- 2 開催場所
宮古市 市民交流センター 多目的ホール
- 3 議題
(1) 宮古市港湾振興ビジョン（案）について
- 4 会議の概要
宮古市港湾振興ビジョン（案）について説明し、意見をいただいた。
詳細は、別添のとおり。
- 5 問い合わせ先
産業振興部企業立地港湾課港湾振興係 電話0193-68-9093

令和6年度第2回宮古市港湾振興ビジョン策定委員会 開催結果

1 出席者（8名）

佐々木久志、小岩利弘、丹波進、及川元、米澤拓、吉田友太、山口智弘、
澤田和嘉子

2 欠席者（4名）

菊地隆、堀口真衣子、伊藤秋彦、伊藤祥子

3 事務局出席者（3名）

産業振興部長 岩間健、産業振興部企業立地港湾課長 竹原和彦、
産業振興部企業立地港湾課港湾振興係長 鳥居裕司

4 傍聴者

なし

5 議事等

○議事

(1) 宮古市港湾振興ビジョン（案）について

宮古市港湾振興ビジョン（案）について事務局から説明した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
<p>【議題(1)「宮古市港湾振興ビジョン(案)について」】</p> <p>(委員) 客船寄港が増えてきており、貨物船との着岸調整が必要となる場合が出てきているが、客船寄港回数の目標16回とした理由は何か。</p> <p>(委員) (ビジョン案3ページ②カ)について 「物流ルートのシフト誘導」を「モーダルシフトへの誘導」と修正したが、「モーダルシフトの<u>誘導</u>」でよいのではないか。また、モーダルシフトという表現は大丈夫(通じる)か。</p> <p>(ビジョン案3ページ④オ)について また、「港湾を利用する製造業・物流拠点等」を「港湾利用型製造業・物流拠点等」と修正されているが、修正した経緯を聞きたい、また、分かりづらいので元のままでいいのではないか。</p>	<p>(事務局) 現ビジョンの最終年度(令和6年度)の目標が8回で達成することになるため、次期ビジョンの目標としては2倍の16回を目標とした。</p> <p>(事務局) 貨物船との着岸調整が生じていることは承知している。 令和3年に岩手県が策定した宮古港長期構想において、クルーズ船が接岸できる新設岸壁の構想がある。その実現のためには寄港実績を16回よりさらに積み上げて、将来的に岸壁整備に結び付けたいと考えている。</p> <p>(事務局) モーダルシフトについては、委員の皆様のご意見を伺いたい。 「港湾利用型製造業・物流拠点等」の記載について、前回の委員会で誘致する企業の範囲に関するご質問を委員からいただき、その際に「藤原ふ頭工業団地のみならず、金浜などの産業用地なども含めて港湾を利用する企業を誘致したい」と回答した経緯があり、そこを整理するために「港湾利用型」とした。分かりづらいというご意見であれば「港湾を利用する企業・物流拠点等」と元に修正したい。</p>

質問・意見	回答
<p>(委員)</p> <p>私は関係者なのでモーダルシフトについて分かるのですが、モーダルシフトとは、トラックなどの自動車輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶へ転換することであり、30年前から言われていることである。</p> <p>最近、2025年問題等、労働時間の制限などで、再度、鉄道、船に転換しましょうと盛り上がってきた。宮古港として考えるのであれば、岩手と北海道は物流があまりリンクせず、我々の商売とすれば首都圏が多いので、関東向けのフェリーがいいのかなと思う。</p>	
<p>(委員)</p> <p>今まで、宮古とのフェリー航路は北海道方面とばかり思っていたが、今話を聞いて関東方面という航路もあるものだと考えさせられた。</p>	<p>(事務局)</p> <p>貨物量の調査は北向きしか行っていなかったが、フェリー再開に向けて南向けなど別の航路も検討していかなければならない。</p> <p>また、モーダルシフトは脱炭素に向けた取り組みでもある。</p>
<p>(委員)</p> <p>以前、宮古-室蘭フェリーがあったが、荷物を積んでトラックが利用するからフェリーがあるのであって、観光などのお客さんだけではフェリー航路は維持できない。</p>	<p>(事務局)</p> <p>メインは貨物で、旅客はプラスアルファの部分であることは理解していたが、貨物は船会社でセールスするので、市は旅客利用促進をお願いしたいということ船会社から言われており、旅客の利用促進をメインに取り組んできた。荷物の確保の取り組みも行ってはいたが、もっと関わるべきであったとの反省につながっている。</p>

質問・意見	回答
<p data-bbox="220 255 497 291">【議題(2)「その他」】</p> <p data-bbox="220 351 304 387">(委員)</p> <p data-bbox="220 400 716 436">(宮古港の取扱貨物量の推移について)</p> <p data-bbox="204 450 783 524">ここ最近の貨物量の減少は、何が影響しているのか。</p>	<p data-bbox="826 351 940 387">(事務局)</p> <p data-bbox="810 400 1390 528">昭和50年代は木材の輸入が非常に多かったが、県産材にシフトしていき木材輸入がなくなってきた。</p> <p data-bbox="810 542 1390 768">また、東日本大震災で一度大きく落ち込み、その後、復興に係る骨材やフェリー貨物等で一時的に回復したものの、復興工事が完了し、またフェリーも休止になったことで取扱量が減ってきている状況である。</p> <p data-bbox="810 781 1390 855">このため、フェリー再開は貨物量を増やすうえで重要であると考えている。</p>